

倒壊家屋の処理



1 全般

(1) 特色

陸自の災害派遣としては初の復旧作業支援

(2) 経緯

出動の当初は道路啓開、危険家屋等の安全化等の一環として実施したが、上級部隊の承認の下、全国の施設化部隊を集中して復興支援として実施した。

(3) 地域別特性

阪神地区と淡路島地区でそれぞれ実施したが、その特性を列記すれば次の通りである。

区分	阪神地区	淡路島地区
地域的特性	<ul style="list-style-type: none"> ● 都市部での処理作業 ● 作業地域（現場）が分散 	<ul style="list-style-type: none"> ● 郡部での処理作業 ● 作業地域が集中
実施上の特性	<ul style="list-style-type: none"> ● 関係者の合意を得て実施 ● 自治体との連絡調整担任：3師団 ● 木造、二階建て以下に限定 ● 手作業等は師団の隊員で支援 	同左
作業上の特性	<ul style="list-style-type: none"> ● 自衛隊独自の隊力で実施 ● 市（区）町職員、所有者、ガス、水道、電気関係者等の立会下で作業 	<ul style="list-style-type: none"> ● 民間業者と共同して実施（日曜日の作業なし） ● 関係者の立会等は同じ

2 部隊運用

各施設部隊毎、区市を単位として担任地域を付与

全国の殆どの施設群が参加

油圧ショベル：44／77，特大ダンプ168／295

集中

3 成果

市区等	明石市	神戸市	芦屋市	西宮市	
処理数	30	1039	80	218	
市区等	尼崎市	宝塚市	伊丹市	北淡町	合計
処理数	43	149	48	992	2599

4 問題点等

(1) 処理作業の非効率性

サイクルタイムが5～6時間

原因：仮置き場の数・容量の不足、交通渋滞

(2) 処理に拘わる調整等の遅延

(調整先が多く時間を要す。)

(3) 処理部隊の勤務等（劣悪な居住及び作業環境、粉塵・アスベスト等）

(4) 処理地点の点在による作業の非効率性